



## 熊本市 感染症発生動向調査 速報

●インフルエンザが引き続き警報レベルで先週より2.2倍増えています!!●

熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、68.00(定点数25ヶ所、患者報告数1700人)となり、先週より2.2倍に増え、2002年以降の熊本市の統計データでは、2005年の9週(2月28日から3月6日)69.59に次ぐ2番目の多さとなっています。B型が多く、A型の4倍に増えています。

### 【咳エチケットをしましょう】

咳やくしゃみをする時、口から、細かいしぶき(飛沫:ひまつ)が2m～3m飛ぶと言われています。しぶきには、インフルエンザウイルスなどの病原体が含まれている可能性があり、感染症がひろがる原因になるかもしれません。そこで必要なのが「咳エチケット」です。

◎実践して欲しい咳エチケット

咳やくしゃみがでる時には

- マスクを着用する。(口・鼻を覆う)
- ティッシュで口・鼻を覆う。
- 袖(内側)で口・鼻を覆う。

※手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

×何もせずに咳やくしゃみをすることは控えましょう。

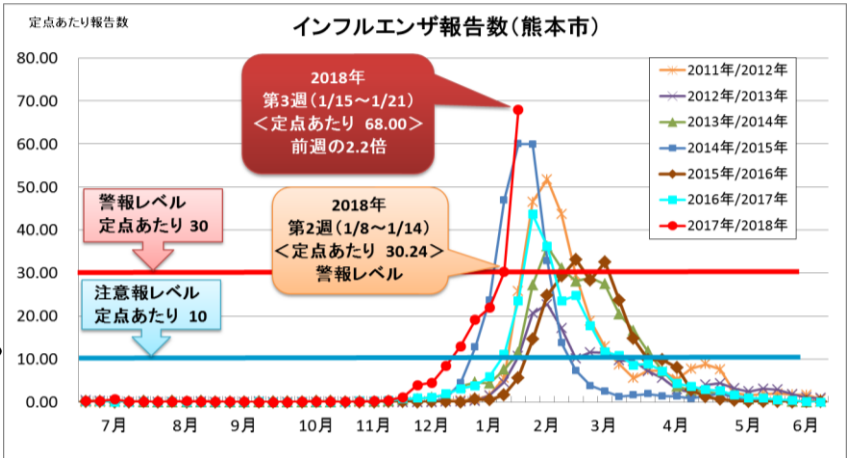
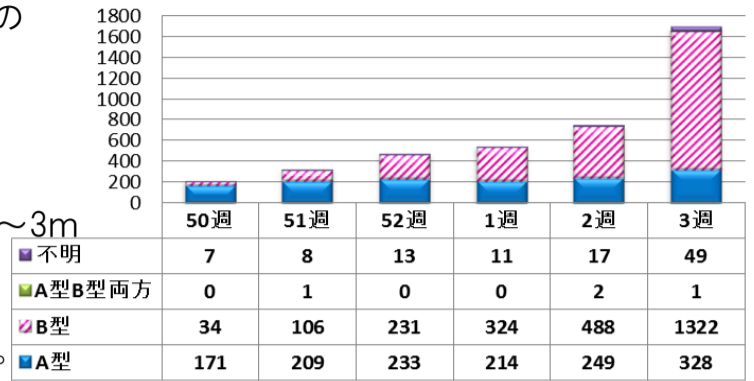
特に症状がある人が咳エチケットをすることが重要です。

また、こまめに手を洗うことでも病原体がひろがらないようにすることができます。原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要

ですので、感染をひろげないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。



### 熊本市インフルエンザ型内訳



期 間		平成30年 2週		平成30年 3週	
		1/8～1/14		1/15～1/21(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)					
インフルエンザ	↑ (警報レベル)	756	30.24	1700	68.00
RSウイルス感染症	→	2	0.13	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)	→	9	0.56	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	16	1.00	20	1.25
感染性胃腸炎	↓	86	5.38	66	4.13
水痘(みずぼうそう)	→	8	0.50	3	0.19
手足口病	→	1	0.06	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	→	4	0.25	8	0.50
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	11	2.20	6	1.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎	→	3	0.60	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00